

# 可茂会後援会報

第21号

2013.12.1

発 行

社会福祉法人  
可茂会後援会

可児市瀬田1648の9

発行者 前島 宗直

TEL 0574-64-3366



麦の丘



三ツ池ホーム



可茂学園

花と緑とからくり時計の

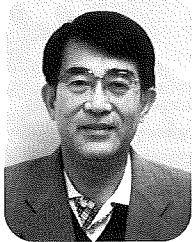


可 茂 学 園



## 住みよし学園に

可茂学園後援会会長 前島 宗直



今年は、猛暑が長く秋が短く一気に冬になつた感じがします。会員の皆様には、活動に対し多大なご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

昨年は、マイクロバスを寄贈することができました。園生の方には大変喜んで使用して頂いています。この様に、保護者が安心し園生が安全で快適な生活を送るためには、何を必要とするか、会員、職員の方々の意見、要望を聞きながら活動を進めて行きたいと考えています。

さて、四月一日より「障害者総合支援法」が施行されました。制度改正によって「共生社会の実施」が可能な限り身近な地域で支援を受けられる」などの理念規定が設けられています。

特に強調されているのが「意思決定支援」です。重度の障害者であつても「意思」「意図」「考

え」や「気持」があり自分で決めることができる。これを大前提として、本人が意思決定しやすい環境づくりや本人に寄り添い、安心して自分の気持ちを出せる様な雰囲気作りが求められます。

二〇二〇年の東京オリンピック開催が決まりました。最終プレゼン

ンテーションでの佐藤さん、滝川さんの「おもてなし」など全員のスピーチに感動しました。团结力の勝利とも言われました。ところでも今後は、可茂学園の様な入居施設の建設は無いと思います。ひとりひとりが学園の必要性を心に刻み、より良い環境作りに団結して自分たちを出せる様な雰囲気作りが求められます。

最後になりましたがバザーには沢山の品物を出して頂きました。行動しよう。

二〇二〇年の東京オリンピック開催が決まりました。最終プレゼン

## 会員の皆様へ

園長 池田 博子

地球温暖化現象によるものでしょうか。今年の夏も大変な暑さの毎日がありました。お彼岸を過ぎても涼風が吹くこともなく、いつまでも熱中症対策に悩まされた日々でありましたが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでございましたでしょうか。日頃は可茂会後援会活動に対しましては、多大なる御支援をいただいておりまことに心より厚くお礼申し上げます。

そこで「制度の谷間」を埋めるという改正障害者基本法の趣旨を踏まえ難病指定の一三〇の疾病の方々も制度の対象となり、併せて共生社会の実現と可能な限り身近な地域で支援を受けられる等の理念規定を設けるとあります。二〇〇三年措置費制度から支援費制度となりそして自立支援法から特別対策つなぎ法、更に総合支援法へと障害者福祉の分野においては激しい制度改正が行われてきました。そうした中において今や我が国においては諸外国に例を見ない高齢化が進んでおります。一般的には六十

歳以上を高齢者の基準とされておりますが、知的障害の方々は一律ではないにしろ早期に老化の傾向が出現するといわれてあります。加齢により老化現象という重複とさらに身体の介護も必要となり多くの課題が山積みであります。施行された制度が知的障害者の障害特性を踏まえた制度であり、将来に亘って安心できる総合支援法であつてほしいと願っています。

去る十月、後援会会員の皆様には可児市において開催された健康フェアにおいてバザーの出店をしていただきました。生憎の雨模様で肌寒さを覚える一日でありますたが、多くのお客様においていただき大盛況のうちに終えることが出来ました。役員の皆様方には格別なるご協力を賜り、おかげ様で可茂学園のPRにも繋げることができました。ありがとうございました。

終わりに今冬の長期予報によりますと寒さが厳しいようになります。会員の皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごし下さいまますよう、お祈り申し上げまして、二十一号の後援会報じさせていただきます。



## 親睦旅行

手作りかまぼこと

鳥羽水族館コースに参加して

桑 煙 澄子

九月二十八日、天気も良くて学園を一台のバスで出発しました。すぐにカラオケが始まりバスの中は楽しい雰囲気になります。

最初は、伊勢かまぼこの工場でのかまぼこ手作り体験でした。五種類の魚の身を練り込んだ材料をまな板の上に広げて何度も練つた後、かまぼこ板の上で山形になる様に乗せるのですが形を整える事が難しくそれの形になりました。もう一つは、練った材料をベラに付けた焼きかまぼこでした。

その後、高台にある「海の蝶」ホテルで昼食でした。目の前には海が広がり眺望のすばらしい所でした。

次に向ったのは、鳥羽水族館でした。順序よくエスカレーターで

九月二十八日、天気も良くて学園を一台のバスで出発しました。すぐにカラオケが始まりバスの中は楽しい雰囲気になります。

入場する事が出来ました。大きなメイン水槽の中で泳ぐ色々な魚と数に目が止まり多くの方が見入っていました。出発まで時間があつたのでアシカ、ラッコや大きなスマメリやジユコンを見て回りました。館内のレストランで冷たい物を飲みながら海を眺めていると、フェリーが入港して来ました。着船した船からは、次々と車が出てくるのが見えました。

皆さんといっしょに出かけるのは年一回ですが子供が元気で参加できる事

がとても嬉しいです。



は、体験あり、試食あり、景色も良くて、魚をいっぱい見て、買い物して、心もお腹もいっぱいの楽しい一日でした。

掛川花鳥園とうなぎパイ工場見学コースに参加して

F・K

十月十一日、「お母さんとバスに乗つて行こうね」と楽しみにしていた親睦旅行の日がきました。待ちに待った日です。当日は、

午後の予定を変更し先に「春華堂三連休と重り満席に巻き込まれましたが岐阜バスさんの早い決断で

午後の予定を変更し先に「春華堂

うなぎパイ工場」に行きました。コンベヤーに乗せられ次々と箱詰めされて行くところを見ていて見あきませんでした。

昼食は、館山寺レストピア山崎での会席料理でした。お腹も満腹になつたところで次の掛川花鳥園に行きました。園内はとても広くペンギンのエサやりやオシドリ、ふくろう等いろいろな色の鳥がありました。

車中では、園生さんがカラオケを上手に歌われ和やかな時間を過す事が出来ました。帰りも満席し到着が一時間程遅れましたがいねいなガイドさんの案内で遅れも気にせず、又何事もなく行つてこれました。

これも、職員の方々の見守りのおかげと感謝しています。

又、来年の親睦旅行を楽しみにしています。



定通りに進み何事もなく全員(元気)で帰りました。職員の方々には大変お世話になりましたがどうぞありがとうございました。

## 可茂学園 相談支援センター開設

管 理 者 池田 博子  
相談支援専門員 河合 政也

十月一日に可茂学園相談支援センターが開設されました。  
障害者の自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切な  
サービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援する  
相談センターです。気楽にご相談ご利用下さい。

### 1、「計画相談」とは

平成二十四年の法改正により、  
障害福祉サービスを利用するため  
には、「障害程度区分」（平成二十  
六年四月以降は、「障害支援区分」）  
に変更）が決定された後、適切な  
サービスの利用に向けて、特定相  
談支援事業者が作成するサービス  
等利用計画を市町村に提出するこ  
とが必要となりました。（平成二  
十七年三月までに計画相談をしな  
いと福祉サービスを利用できない  
可能性があります）

### 3、「計画相談」の時期と 内容について

計画相談の時期は、個人個人異  
なります。基本的には利用者それ  
ぞれの「受給者証」が切れる時期  
になります。（例外として、通所  
の方で短期入所の契約をしている  
場合はその期間が切れる前に行う  
場合もあります）

計画相談の内容としては、①基  
本相談支援 ②サービス等利用計  
画の作成 ③セーフティリング（見直  
し）です。

### 2、「可茂学園相談支援セン ター」（特定相談支援事業） との契約について

計画相談に入るためには、特定  
相談支援事業者との契約が必要で  
す。（本人と保護者のサインとそ  
れぞれの印鑑が必要です）

### 4、費用と連絡先

計画相談支援に係る費用は全額  
公費負担となりますので、無料で  
ご利用いただけます。  
計画相談支援について不明な点  
がありましたらお電話下さい。

TEL 六四一三三六六（可茂学園）

岐阜県共同募金会様のご助成で、

可茂学園の空調機が一新しました

副園長 日比野 邦彦



室 内 機



新しくなった空調機（食堂）

## 社会福祉法人可茂会 後援会総会報告

(一) 平成二十四年度後援会決算報告と承認

(二) 平成二十四年度後援会特別会計報告と承認

平成二十五年四月十三日(土)  
(於可茂学園福祉センター)

- 一、開会の言葉
- 二、会長挨拶
- 三、園長挨拶
- 四、議長選出
- 五、議事I告

平成二十四年度後援会事業報

(一) 平成二十五年度後援会役員選出と承認  
(二) 平成二十五年度後援会監査報告の承認

(三) 平成二十四年度後援会監査報告と承認

(四) 平成二十四年度後援会監査報告と承認

## 七、閉会の言葉

## 平成二十四年度 事業報告

平成二十四年六月九日(土)  
可茂会役員会

平成二十四年七月六日(金)  
後援会会員の業者訪問

平成二十四年九月八日(土)  
可茂会役員会

平成二十四年十月二十一日(日)  
可児市健康フェアへ参加

平成二十四年十一月十日(土)  
バザー(売上金七二、一一〇円)

平成二十四年十一月一日(土)  
可茂会後援会会報の発行

平成二十四年三月九日(土)  
(二〇号)三〇〇部

平成二十四年十二月八日(土)  
可茂会役員会

平成二十五年二月九日(土)  
可茂会役員会

平成二十五年三月九日(土)  
可茂会後援会監事監査

平成二十四年年度会員加入状況について

平成二十四年年度予算(案)について

平成二十四年年度事業計画(案)について

平成二十五年年度予算(案)について

平成二十四年年度決算報告について

平成二十四年年度事業計画(案)について

平成二十五年年度後援会役員(案)について

平成二十五年度総会の打ち合われ

## 平成24年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

### 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,360,000	1,667,000	307,000	
特 別 会 員	60,000	90,000	30,000	30,000×3□
正 会 員	1,000,000	1,290,000	290,000	10,000×129□
育 成 会 員	180,000	183,000	3,000	3,000×61□
賛 助 会 員	120,000	104,000	-16,000	1,000×104□
2. 雑 収 入	35,000	99,630	64,630	バザー売上等
3. 利 息	0	24,343	24,343	
4. 前 期 繰 越 金	1,068,954	1,068,954	0	
合 計	2,463,954	2,859,927	395,973	

### 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	20,000	18,024	-1,976	弁当代等
2. 事 務 費	565,000	346,120	-218,880	
通 信 費	10,000	6,160	-3,840	切手代
印 刷 製 本 費	65,000	95,550	30,550	会報印刷代
事 務 消 耗 品 費	10,000	4,410	-5,590	コピー用紙代
施 設 整 備 費	380,000	190,000	-190,000	草刈業者委託
雜 費	100,000	50,000	-50,000	夏祭り協賛金
3. 振 込 手 数 料	3,000	1,710	-1,290	郵便振替手数料
4. 積 立 金	1,875,954	2,490,000	614,046	施設整備積立金
合 計	2,463,954	2,855,854	391,900	

収入総額 2,859,927円  
支出総額 2,855,854円  
収支差額 4,073円 (次期繰越)

### 監査報告書

平成24年度の可茂会後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。

よって平成24年度決算は適正であることを認め、報告いたします。

平成25年3月9日

可茂会後援会  
会長 前島 宗直様

監査委員 小椋 塚夫

糸畠 直喜

### 特別会計報告書 施設整備積立金

(単位:円)

	收 入	支 出	残 高
平成21年度積立金(郵便局定額預金)	1,300,000		8,568,000
平成22年度積立金(郵便局定額預金)	1,188,000		9,756,000
平成23年度積立金(郵便局定額預金)	244,000		10,000,000
マイクロバス寄付(24.10.10)		6,900,000	3,100,000
マイクロバスのスタッドレスタイヤ(24.11.30)		288,000	2,812,000
平成24年度積立金(郵便局定額預金)	2,490,000		5,302,000

# 平成二十一年度 事業計画

【基本方針】

社会福祉法人可茂会は、利用者の個人の尊厳を保持しつつ、地域社会において自立した生活を営むことができるよう支援することを、基本理念として設置されました。

平成25年度 社会福祉法人可茂会後援会予算

収入の部

科 目	24年度予算	25年度予算	比較増減	摘要
1. 会 費	1,360,000	1,590,000	230,000	
特 別 会 員	60,000	90,000	30,000	30,000×3□
正 会 員	1,000,000	1,200,000	200,000	10,000×120□
育 成 会 員	180,000	180,000	0	3,000×60□
贊 助 会 員	120,000	120,000	0	1,000×120□
2. 雜 収 入	35,000	35,000	0	バザーの売上
3. 前 期 繰 越 金	1,068,954	4,073	-1,064,881	
合 計	2,463,954	1,629,073	-834,881	

支出の部

科 目	24年度予算	25年度予算	比較増減	摘要
1. 会議費	20,000	20,000	0	
2. 事務費	565,000	600,000	35,000	
通信費	10,000	10,000	0	切手代
印刷製本費	65,000	100,000	35,000	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	10,000	0	コピー用紙代等
施設整備費	380,000	380,000	0	草刈業者委託
雑費	100,000	100,000	0	夏祭り協賛金
3. 振込手数料	3,000	3,000	0	郵便振替手数料
4. 積立金	1,875,954	1,006,073	-869,881	施設整備積立金
合計	2,463,954	1,629,073	-834,881	

はじめとして多くの皆様の温かい  
ご理解とご支援に支えられ、順調  
に施設整備の拡充を図つてまいり  
ました。

近年は、社会福祉法人に対する補助についても見直しがなされ、従来にも増して公的助成が厳しくなることが予想されます。

可茂会後援会に加入を

二 各種会議の開催	
① 総会の開催	年一回
② 役員会の開催	年九回
③ 監事会の開催	年一回
三 調査・広報活動	
① 後援会会報の発行	年一回

## ②情報の収集と提供、広報活動の推進

## 【重点目標】

## ①会員の拡大 組織強化活動

## 四 施設整備の助成事業

平成二十五年度  
可茂会後援会役員

## （業務委託）

②会員拡大に必要な広報活動  
③可児市健康フェアへの参加  
(バザー)十月二十日

平成二十五年度

後援會員名簿

= 敬称略 =

特別会員

[一〇] 吉田整備

(株)濃飛葬

正会員

下山利夫

〔五〇〕 寿和工業(社)  
（株）三宅設

(株)三宅設  
エース薬局

〔三〇〕 長瀬 邦夫

〔二〇〕  
(株)日本空  
算斐 仔久

谷口搢斐義晴好久

[一〇] 小境電氣工

ミズノ観光  
(東)フエニ

(有)フジ二  
新興設  
株

（株）新興語

可兒市建設  
（第1回）

（有）伊藤電  
ヘアサロン

ハサコノ

藤野和彦

菅井省二

山田  
松村  
順子

山田順子

育成会員

贊助會

長尾	小栗	川村	和子	伊藤	伊藤	和代
意夫	雅哉	池田	雄亮	久也	塚本	渡辺
高橋	繩纈	丸山	豊	也	伏屋	浩英
安藤	将也	高橋	節子	和田	公博	伊藤
平林なつみ	矢嶋里佳子	市橋	香奈	丸山	和樹	山口
佐々美佐子	鈴木	香奈	永井	栗本多恵子	原雅	加藤
玉井美世子	輝世	壽子	香帆	佐合真奈	和也	泰史
佐々美佐子	大前良雄	大島久興	裕子	山田多美惠	和也	堀田
谷口正勝	片岡良雄	伊藤正和	大野滋夫	松原裕子	和也	智也
梅田早苗	鈴木かなゑ	佐藤正和	平岡ゆみ子	永井香帆	友香	智人
山本里子	亀谷貞子	佐藤正和	大野達夫	栗本多恵子	明美	川合圭伊子
寿信男	向井正勝	佐藤正和	長谷川栄作	今井理恵	川合圭伊子	泰史
村瀬省吾	佐光千代子	佐藤正和	杉山洋志	奥田明美	川合圭伊子	拓男
(平成二十五年十一月二十日現在)	村山きよ子	加藤寿之夫	井藤三千子	瀧戸哲也	伊藤智也	堀田泰史
渡辺美知夫	尾関英治	長谷川敏文	長瀬修一	小口智惠	伊藤智惠	川合圭伊子